

令和3年度扶桑町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、主食用米水稻を中心に作付けされており、主食用米の需要が減少する中、担い手への農地集積により麦・飼料用米の作付けに転換することで、水田面積の維持を図っている。

また、都市近郊であるため農地転用が進み、農家の高齢化とともに土地持ち非農家が増える中、効率的かつ安定的な農業経営を営む担い手への面的な農地集積を進めていくことが課題である。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当該地域の現状は、主食用米水稻の作付けが中心となっており、高収益作物の導入は進んでいない。水田の有効利用と収益力強化に向け、転換作物として麦・飼料用米の作付面積の増加を図る。また低コスト生産技術の導入等も検討し、生産性の向上と品質向上に取組む。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

当該地域は、主食用米水稻を中心に作付けされており、転換作物として麦、飼料用米の作付けにも取り組んでいるため、積極的な畑地化の推進は難しい状況である。畑作物のみを生産し続けている水田や、水の出入りが悪く今後も水稻作に活用される見込みがない水田を把握し、畑地化できないかを検討していく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

前年の需要動向や集出荷業者等の意向を勘案しつつ米の生産を行うとともにニーズに応じた生産と安定取引を図る。

(2) 備蓄米

該当なし

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

麦に次ぐ転換作物に位置づける。

また、飼料用米の生産拡大にあたっては、主食用米品種での対応とし、産地交付金を活用し所得を増加させるため、生産性の向上と品質向上に取組むとともに、作付面積の増加を図る。

イ 米粉用米、ウ 新市場開拓用米、エ WCS用稲、オ 加工用米

該当なし

(4) 麦、大豆、飼料作物

麦については、需要者の要望に即し計画生産していくとともに、産地交付金を活用し、生産性の向上及び品質向上の取組を推進する。

(5) そば、なたね
該当なし

(6) 高収益作物
該当なし

5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面積等 (ha)
主食用米	5.6	5.0	5.0
備蓄米	0	0	0
飼料用米	3.6	6.7	7
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS用稲	0	0	0
加工用米	0	0	0
麦	1.5	1.9	2.0
大豆	0	0	0
飼料作物	0	0	0
・子実用とうもろこし	0	0	0
そば	0	0	0
なたね	0	0	0
高収益作物	0	0	0
・野菜	0	0	0
・花き・花木	0	0	0
・果樹	0	0	0
・その他の高収益作物	0	0	0
その他	0	0	0
・			
畑地化	0	0	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度(実績)	目標値
1	麦 (基幹作)	麦の生産性向上と品質向上策(基幹作物)	作付面積	(2年度) 12.7ha	(5年度) 17.5ha
2	麦 (二毛作)	麦の生産性向上と品質向上策(二毛作)	作付面積	(2年度) 2.3ha	(5年度) 2.5ha
3	飼料用米 (基幹作)	飼料用米の生産性向上と品質向上策(基幹作)	作付面積	(2年度) 3.6ha	(5年度) 7ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。